

交通安全普及啓発事業

補助事業 安全・安心まちづくり推進協議会4団体（※1）

実施目的

交通安全に関する各種キャンペーンや事業を実施し、市民の交通安全に対する意識の高揚を図る。

実施場所 市内

対象者 市民一般

開始年度 昭和18年

予算 15075 千円 （一部）

実施内容

交通安全に関する年間運動及び各季の運動におけるキャンペーン活動（チラシ、啓発物品の配布等）、毎月20日の「市民交通安全の日」におけるパトロール、安全・安心まちづくり表彰式の開催（交通安全功労者等の表彰）、地域の交通安全活動団体への支援等。実施方法は、上記協議会の補助事業として、市民、地域団体、事業者、行政機関等が連携し実施する。

（※1）相模原市安全・安心まちづくり推進協議会、緑区安全・安心まちづくり推進協議会、中央区安全・安心まちづくり推進協議会、南区安全・安心まちづくり推進協議会の4団体。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通安全教室事業

高
齢
者こ
ど
も中
高
生チ
ヤ
イ
ル
ド
シ
ー
ト
ベ
ル
トイ
啓
パ
発
ン
運
ト
動調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲
酒
運
転
根
絶そ
の
ほ
か

直轄事業

実施目的

交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守、マナーの大切さを再認識すること

実施場所 市内各所（※1）

対象者 こども（※2）

開始年度 昭和56年

予 算 551 千円

実施内容

交通安全教室開催の案内を行い、開催可能な学校へ、市の防犯交通安全指導員（会計年度任用短時間勤務職員）を派遣し、交通安全教室を実施する。内容は、幼児及び小学校1年生に対しては、歩行実技を中心に講習・講話を、小学校3年生以上には自転車講習を実施する。

（※1）幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校等で実施。

（※2）幼児、小学生、中学生、高校生が対象。

URL

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/1026529/bouhan/1026541/1008499.html>

自転車シミュレータを活用した交通安全教室事業

直轄事業

実施目的

自転車シミュレータを利用し、交通ルールの理解、危険箇所等について再認識すること

実施場所

鹿沼公園、桜まつり等

対象者

市民一般

開始年度

平成25年

予算

0 千円

実施内容

春休み、夏休み、冬休み期間中に鹿沼公園において自転車シミュレータを利用した交通安全教室を実施している。

また、桜まつり等のイベントに出展した際には、自転車シミュレータを体験してもらい、交通安全意識高揚のための啓発を行っている。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反教材

飲酒運転根絶

その他

高齢者交通安全教室事業

直轄事業

実施目的

高齢者の関係する交通事故の全交通事故件数に占める割合が高いことから、基本的な交通ルール、マナーについて受講の機会を提供すること

実施場所 市内各所^(※1)

対象者 高齢者

開始年度 昭和56年

予算 551 千円

実施内容

自治会等に対し、交通安全教室開催の案内を行い、開催可能な団体、施設において、市の防犯交通安全指導員（会計年度任用短時間勤務職員）を派遣し、高齢者交通安全教室を実施する。内容は、依頼団体の希望に基づき、交通安全講話、啓発DVD、実技講習等を行う。

（※1）公民館、自治会館、老人福祉施設等で実施。

URL

安全・安心まちづくり標語・ポスター事業

直轄事業

実施目的

児童・生徒の交通安全に対する意識を高めるとともに、入選作品の展示及び広報等への作品の活用を通して、市民啓発に繋げること

実施場所 小学校、中学校からの応募

対象者 小学生、中学生

開始年度 昭和63年

予算 120 千円

実施内容

小学生の部と中学生の部に分け、交通安全に関する標語・ポスター作品を募集し、入賞者は「安全・安心まちづくり表彰式」で表彰する。

入賞作品は、市内数箇所で巡回展示するほか、交通安全啓発に関する広報や啓発物品等に活用する。

URL

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/1026529/1026549/1026556/1034153.html>

自転車対策事業

直轄事業 相模原市まち・みどり公社

実施目的

駅周辺における自転車等の放置防止対策を推進するとともに、自転車駐車場の整備並びに利用促進を図る。

実施場所 市内

対象者 市民一般

開始年度 昭和56年

予算 156708 千円

実施内容

- 放置自転車等移動事業【直轄事業】
自転車等放置防止指導員（会計年度任用職員）を配置し、放置自転車等への警告や移動を行う。
- 放置自転車等保管所管理事業
移動した放置自転車等の保管及び所有者への返還を行う。
- 市営自転車駐車場事業【直轄事業、委託事業】
市営自転車駐車場の整備及び維持管理を行う。

URL

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/1026489/chushajo/1026521/index.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通安全普及啓発事業

自転車ルールチェック（タッチパネル）等を活用した交通安全普及啓発事業

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

補助事業 緑区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

自転車タッチパネルでは、楽しみながら自転車に乗る際の交通ルールを学ぶことができることから、啓発機器等を通して、交通安全に対する意識を高めてもらうことを目的とする。

実施場所 緑区内各所（※1）

対象者 市民一般

開始年度

予算

実施内容

高校の文化祭やツアーオブジャパン、七夕まつりなどのイベントでブースを作り、タッチパネルを用いて自転車の交通ルールを啓発する。

（※1）緑区内高等学校・鳥居原ふれあいの館（TOJ）・七夕まつりで実施。

URL

交通安全普及啓発事業

自転車マナーアップ事業（自転車マナーアップ呼びかけ隊事業）

補助事業 緑区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

全交通事故に占める自転車の関係する交通事故の割合が年々高まり、特に、若年層の自転車マナーの低下が課題となっていることから、「自転車マナーアップ強化月間（5月）」や「相模原地区交通安全デー（5月・10月）」に、標記事業を実施し、高校生の交通安全に対する意識を高め、自転車の交通ルールの遵守、マナーの向上を図ることを目的とする。

実施場所

緑区内高等学校等

対象者

高校生等

開始年度

平成22年

予算

実施内容

高等学校からの協力依頼に基づき、各校一斉に、登校時に校門や付近の交差点等において、警察署や交通安全関係団体等と共に、自転車利用者に対し、自転車のルール遵守や安全走行の呼びかけを行う。また、イベント等において、自転車運転時のヘルメット着用の普及啓発や、自転車の交通反則告知制度（青切符）の周知を実施する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通安全普及啓発事業

自転車マナーアップ事業（スケアード・ストレイト事業）

補助事業 緑区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

全交通事故に占める自転車の関係する交通事故の割合が高いことから、スタントマンによる交通事故の再現等を実演することにより、恐怖や衝撃を実感して交通ルールやマナーの大切さの知識、向上を図ることを目的とする。

実施場所 緑区内高等学校

対象者 高校生

開始年度 平成22年

予 算 300 千円

実施内容

高等学校等において、スタントマンによる自転車交通事故の再現等を実演する。特に、若年層の自転車マナーの低下が問題となっているため、高校生を中心に事業を実施する。

URL

高
齢
者こ
ど
も中
高
生シ
ー
ト
ベ
ル
トイ
ベ
ン
ト調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲
酒
運
転
根
絶そ
の
ほ
か

交通安全啓発事業

運転適性検査及び認知・判断力診断講習

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

補助事業

緑区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

高齢者の関係する交通事故の全交通事故件数に占める割合が、高水準で推移しているため、事故を惹起させる運転者の気質・性格等を検査及び診断で測定し、高齢者自らが加齢に伴う身体機能や運転技術の変化を自覚し、交通事故防止のための行動を実践できるようにすることを目的とする。

実施場所

緑区合同庁舎

対象者

高齢者

開始年度

平成31年

予算

10 千円

実施内容

神奈川県警察と協定を締結している神奈川トヨタ自動車等を招いて、運転適性検査と認知・判断力診断講習、サボカー体験を行い、高齢運転者への啓発を行う。

URL

交通安全団体補助事業

補助事業 緑区内交通安全協会（2協会）

実施目的

各季の交通安全運動を始めとする啓発活動や交通指導員による交通安全教育の実施など、交通事故防止を推進する交通安全協会に対し補助し、市民の交通安全意識の高揚を図る。

実施場所 緑区内

対象者 市民一般

開始年度 昭和35年

予算 397 千円

実施内容

- ・交通事故防止及び交通道德の普及高揚のための啓発活動に関する事業
- ・各種交通安全運動の実施に関する事業
- ・各種交通安全教室の開催に関する事業
- ・その他交通事故防止のために必要な事業

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他
ほか

交通安全普及啓発事業

補助事業 緑区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

交通安全に関する各種キャンペーンや事業を実施し、市民の交通安全に対する意識の高揚を図る。

実施場所 緑区内

対象者 市民一般

開始年度 平成18年

予算 4784 千円 （一部）

実施内容

交通安全に関する年間運動及び各季の運動におけるキャンペーン活動(チラシ、啓発物品の配布等)、毎月20日の「市民交通安全の日」におけるパトロール、地域の交通安全活動団体への支援等。実施方法は、上記協議会の補助事業として、市民、地域団体、事業者、行政機関等が連携し実施するもの。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通安全団体補助事業

補助事業 相模原交通安全協会

実施目的

地域における交通安全思想の普及高揚及び交通安全の推進と交通事故防止を図る。

実施場所 中央区内

対象者 市民一般

開始年度

予算 599 千円

実施内容

交通事故のない安全で安心な住み良い相模原の実現を目指し、活発な交通安全活動を展開する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通安全普及啓発事業

補助事業 中央区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

区民、地域団体、行政機関等との協働により、地域における犯罪及び交通事故の防止等に取り組み、全ての人が安全で安心して暮らし、活動できる中央区を実現する。

実施場所 中央区内

対象者 市民一般

開始年度

予算 4670 千円

実施内容

交通安全に関する各季の運動における啓発活動の実施、毎月20日の「市民交通安全の日」における安全・安心パトロール等、安全・安心まちづくりに関する知識の普及及び啓発並びに安全・安心まちづくりに関する地域活動の支援をする。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通安全普及啓発事業

家庭や地域等での交通安全教育の普及促進

高
齢
者こ
ど
も中
高
生シ
ー
ト
ベ
ル
ト
チ
ャ
イ
ル
ド
シ
ー
トイ
ン
フ
ォ
ー
メ
ー
シ
ョ
ン
啓
発
運
動調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲
酒
運
転
根
絶そ
の
ほ
か

補助事業 中央区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

家庭や地域などにおいて、交通ルールやマナーの遵守、自転車を安全に利用するための知識などを啓発し、交通安全教育の普及促進を図る。

実施場所 区内各小学校、高等学校

対象者 小学校高学年、新高校1年生

開始年度 平成29年

予 算 100 千円

実施内容

それぞれの対象の年代に合わせた、自転車の交通ルールやマナーに関する啓発品を作成し、学校を通じて配布する。

URL

交通安全普及啓発事業

スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教育

補助事業 中央区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

交通事故全体に占める自転車事故の割合が高く、特に高校生の自転車交通事故が多いことから、主に高校生を対象に、スタントマンによる自転車交通事故の再現を間近で見ることにより、恐怖や衝撃を実感して交通ルールやマナーの向上を図る。

実施場所 未定

対象者 高校生、区民一般

開始年度 平成22年

予 算 320 千円

実施内容

スタントマンによる自転車交通事故を再現した交通安全教室を実施する。

URL

高
齢
者こ
ど
も中
高
生チ
ャ
イ
ル
ド
シ
ー
ト
シ
ー
ト
ベ
ル
トイ
啓
発
運
動
イ
ベ
ン
ト調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲
酒
運
転
根
絶そ
の
ほ
か

スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教育

直轄事業

実施目的

交通事故全体に占める自転車事故の割合が高く、特に高校生の自転車交通事故が多いことから、主に高校生を対象に、スタントマンによる自転車交通事故の再現を間近で見ることにより、恐怖や衝撃を実感して交通ルールやマナーの向上を図る。

実施場所

未定

対象者

高校生、区民一般

開始年度

平成22年

予 算

640 千円

実施内容

スタントマンによる自転車交通事故を再現した交通安全教室を実施する。

URL

高
齢
者こ
ど
も中
高
生シ
ー
ト
ベ
ル
ト
チャイルドシートイ
ベ
ン
ト
啓発運動調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲酒
運転
根絶そ
の
ほ
か

中央区自転車マナーアップデー

補助事業 中央区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

中央区は自転車交通事故の発生件数が多く、神奈川県交通安全対策協会から（5月1日現在）16年連続して自転車事故多発地域に指定されており、特に高校生の自転車交通事故が多いことから、高校生の交通安全意識の高揚による自転車交通事故の減少を目指す。

実施場所

自転車交通量の多い交差点

対象者

主に高校生

開始年度

平成29年

予算

0 千円

実施内容

関係団体が連携し、自転車交通事故の発生割合が高い高校生を主な対象として、自転車通行量の多い交差点等で安全運転の声掛けを行う活動を実施する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

相模原地区交通安全デー

補助事業 中央区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

登下校時に事故に巻き込まれる高校生が全国的に多い現状を踏まえ、交通安全意識の高揚による自転車交通事故の減少を目的とする。

実施場所 中央区内高等学校

対象者 各校生徒

開始年度 平成22年

予算 0 千円

実施内容

登校時の通学路や校門周辺で交通安全指導を実施する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

自転車シミュレーターを活用した出張講座

補助事業 中央区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

自転車シミュレーターを通じて交通ルールを学ぶことで、実際に自転車を運転する際に、どのような点に注意をするべきか体験する。

実施場所 中央区内

対象者 市民一般

開始年度 平成26年

予算 0 千円

実施内容

安全運転の技術を身につけるため、自転車シミュレーターを活用した出張講座の実施に加え、地域等が実施するイベントにおいて出張講座を開催する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

中央区あったかドライブプロジェクト

補助事業 中央区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

信号機のない横断歩道を渡ろうとする歩行者を見かけたドライバーが「わたしは横断歩道の前で止まります」と一時停止を徹底するとともに、歩行者が「横断歩道で止まってくれてありがとう」という感謝の気持ちを表すことで、交通ルールやマナーの向上を図り、皆さんが道路を安全に気持ちよく通行できることを目指す。

実施場所 中央区内全域

対象者 区民一般

開始年度 令和3年

予算 1180千円（一部）

実施内容

オリジナルマグネットステッカーを配布し、自身の運転する車両後方に貼付してもらうことで、貼付した車両のドライバーの横断歩道での歩行者優先の意識高揚と周辺ドライバーへの啓発を行う。

また、歩行者へは、横断歩道で止まってくれたドライバーに、感謝の意を示すように周知・啓発を行うことで、歩行者・ドライバーが互いに気持ちの良い関係を醸成していく。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通安全普及啓発事業

高齢者交通事故防止に向けた啓発活動

高
齢
者こ
ど
も中
高
生シ
ー
ト
ベ
ル
ト
チャイルドシートイ
ン
フ
ォ
ー
メ
ー
ション
啓
発
運
動調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲
酒
運
転
根
絶そ
の
ほ
か

補助事業

中央区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

高齢者の交通安全意識の向上及び交通事故減少を目的とする。

実施場所

中央区内

対象者

区民一般（65歳以上）

開始年度

平成22年

予 算

0 千円

実施内容

高齢者の身体機能や行動特性を踏まえた安全啓発を行う。実際に起きた高齢者交通事故から原因を共有し、再発防止に努める。

URL

南区学生自転車会議への活動支援事業

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

補助事業 南区学生自転車会議（南区安全・安心まちづくり推進協議会）

実施目的

南区内の高校に在学する学生の有志で構成される。

学生の目線から効果的に自転車の交通事故防止や運転マナーの向上を図ることを目的に活動している。

実施場所 南区合同庁舎等

対象者 高校生、市民（区民）一般

開始年度 平成24年

予算 40 千円

実施内容

自転車等に対する交通反則通告制度周知動画作成及び交通安全キャンペーンの参加などの実施により、自転車の安全運転の普及啓発に取り組んでいる。

URL <https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/minamiku/1009535/index.html>

交通安全普及啓発事業

補助事業 南区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

交通安全に関する各種キャンペーンや事業を実施し、市民の交通安全に対する意識の高揚を図る。

実施場所 南区内

対象者 市民（区民）一般

開始年度 平成18年

予算 4581 千円

実施内容

交通安全に関する年間運動及び各季の運動におけるキャンペーン活動（チラシ、啓発物品の配布等）、毎月20日の「市民交通安全の日」におけるパトロール、安全・安心まちづくり表彰式の開催（交通安全功労者等の表彰）、地域の交通安全活動団体への支援等。実施方法は、上記協議会の補助事業として、市民、地域団体、事業者、行政機関等が連携し実施する。

URL

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/minamiku/1009535/index.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通安全団体補助事業

補助事業 相模原南交通安全協会

実施目的

各季の交通安全運動を始めとする啓発活動や交通指導員による交通安全教育の実施など、交通事故防止を推進する交通安全協会に対し補助し、市民の交通安全意識の高揚を図る。

実施場所

南区内

対象者

市民（区民）一般

開始年度

昭和35年

予算

616 千円

実施内容

（補助対象事業）

- ・交通事故防止及び交通道德の普及高揚のための啓発活動に関する事業
- ・各種交通安全運動の実施に関する事業
- ・各種交通安全教室の開催に関する事業
- ・その他交通事故防止のために必要な事業

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

自転車マナーアップ事業（スケアード・ストレイト事業）

補助事業 南区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

全交通事故に占める自転車の関係する交通事故の割合が高いことから、スタントマンによる交通事故の再現を間近で見ることや、交通事故の疑似体験ができる交通安全VRを用いて、恐怖や衝撃を実感して交通ルールやマナーの大切さの知識、向上を図ることを目的とする。

実施場所 県立相模原中等教育学校等

対象者 高校生、市民（区民）一般

開始年度 平成22年

予算 898 千円

実施内容

高等学校等において、スタントマンによる自転車交通事故の再現・疑似体験を通した交通安全教室を実施する。特に、若年層の自転車ルールの遵守・マナーの低下が問題となっているため、学生を中心に事業を実施する。

また、交通事故の疑似体験ができる交通安全VRの貸出を行う。

URL <https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/minamiku/1009535/index.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

相模原地区交通安全デー

直轄事業

実施目的

全交通事故に占める自転車の関係する交通事故の割合が高いことと、特に、若年層の自転車マナーの低下等が課題となっていることから、「相模原地区交通安全デー（5月・10月）」に、標記事業を実施する。

高校生の交通安全に対する意識を高め、自転車の交通ルールの遵守、マナーの向上を図ることを目的とする。

実施場所 区内各所（※1）

対象者 高校生、市民（区民）一般

開始年度 平成22年

予算 0 千円

実施内容

高等学校からの協力依頼に基づき、各校一斉に、登校時に校門や付近の交差点等において、横断幕やのぼり旗を掲げる。

自転車利用者に対し、教員や生徒とともに警察署、交通安全関係団体等が自転車のルール遵守や安全走行の呼びかけを行う活動を展開する。

（※1）神奈川県立神奈川総合産業高等学校、神奈川県立相模原中等教育学校、神奈川県立麻溝台高等学校、神奈川県立上鶴間高等学校で実施。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
ベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反教材

飲酒運転根絶

その他

交通事故ゼロ運動

直轄事業

実施目的

全交通事故に占める自転車の関係する交通事故の割合が高いことと、特に、若年層の自転車マナーの低下等が課題となっていることから、「交通事故ゼロ運動（5 月・10 月）」に、標記事業を実施する。

高校生（定時制）の交通安全に対する意識を高め、自転車の交通ルールの遵守、マナーの向上を図ることを目的とする。

実施場所

県立神奈川県総合産業高等学校

対象者

高校生等（※1）

開始年度

予 算

0 千円

実施内容

高等学校からの協力依頼に基づき、通学中の生徒に校門や付近の交差点等において、横断幕やのぼり旗を掲げる。

自転車利用者に対し、教員や生徒とともに警察署、交通安全関係団体等が自転車のルール遵守や安全走行の呼びかけを行う活動を展開する。

（※1）高校生（定時制）、市民（区民）一般が対象。

URL

高
齢
者こ
ど
も中
高
生チャイルドシート
シートベルトイ 啓
ベ 発
ン 運
ト 動調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲酒
運転
根絶そ
の
ほ
か

自転車等に対する交通反則通告制度の適用に関する周知事業

直轄事業

実施目的

令和 8 年 4 月 1 日から当該制度が適用されることに伴い、制度について自転車利用者に周知し、自転車における交通違反を減らすことを目的とする。

実施場所

南区内

対象者

区民一般等^(※1)

開始年度

令和 7 年

予 算

0 千円

実施内容

自転車通学の学生をはじめとした自転車利用者に対し、啓発活動を実施する。

(※1) 高校生、大学生、市民（区民）一般が対象。

URL

高
齢
者こ
ど
も中
高
生シ
ー
ト
ト
ベ
ル
トイ
ン
フ
ォ
ー
メ
ー
シ
ョ
ン調
査
研
究市
民
参
加自
転
車
等反
射
材飲
酒
運
転
根
絶そ
の
ほ
か

高齢者向け運転認知機能検査などの体験会

直轄事業 南区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

全交通事故に占める高齢者の関係する交通事故の割合が高いことから、加齢に伴う心身機能の変化を自覚し、交通事故防止のための行動を実践できるように認知機能検査などの体験会を行うことを目的とする。

実施場所 トヨタモビリティ神奈川^(※1)

対象者 高齢者

開始年度 令和4年

予算 0千円

実施内容

神奈川県警察と協定を締結しているトヨタ自動車と連携し、認知機能検査や安全運転サポート車の乗車などの体験イベントを行い、高齢運転者への安全運転の啓発を実施する。

(※1) トヨタモビリティ神奈川 相模台店で実施。

URL

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/minamiku/1009535/index.html>

高齢者向け運転技能診断などの体験会

直轄事業 南区安全・安心まちづくり推進協議会

実施目的

全交通事故に占める高齢者の関係する交通事故の割合が高いことから、加齢に伴う心身機能の変化を自覚し、交通事故防止のための行動を実践できるように運転技能診断などの体験会を行うことを目的とする。

実施場所 南区付近の自動車教習所

対象者 高齢者

開始年度 令和4年

予算 177 千円

実施内容

自動車教習所指導員による、実車を用いた運転技能指導と、踏み間違い防止装置などの体験イベントを行い、高齢運転者への安全運転の啓発を実施する。

URL

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/minamiku/1009535/index.html>